

ミドリガメの駆除学ぶ

魚住 講習会で水利組合関係者



捕獲したアカミミガメを観察する参加者
＝魚住町清水

ため池や河川での大量繁殖が問題になって
いる外来種ミシシッピ
アカミミガメ(ミドリ
ガメ)の駆除方法を知
る講習会が28日、明石
市魚住町清水の清水新
田公民館であり、地元

の清水新田水利組合関
係者ら約20人が参加し
た。
同水利組合は地元の
ため池7カ所を管理し
ている。講習会は市が
企画し、神戸市立須磨
海浜水族園の前園長、
亀崎直樹さん(59)らが
講師を務めた。

亀崎さんは、アカミ
ミガメのメスが一度に
10個前後の卵を産むこ
とや、米国ではワニが
個体数を調節する役割
を担っているが日本に
は天敵がないことな
どを説明。近々のため
池では事前に仕掛けた
網を引き上げ、5カ所
に計35匹のアカミミガ
メが入っているのを確
かめた。

同水利組合の高橋保
之組合長(71)は「予想
より多かったので驚い
た。行政の支援を得な
がら継続的に捕獲でき
る仕組みを検討した
い」。市は今後も同様
の講習会を各地で開
く。
(井原尚基)